

ツマベニチョウだより（第2号）

◎ 本年の挿し木を終えました。

「五百余のギョボク挿し終ふ穂木十人、挿し木五人の協力賜びて」

冒頭に自作品を述べて恐縮ですが、これは最近詠みました私の短歌です。4月30日をもって今年の挿し木を終えることが出来ました。

先号でも記しましたが当初150本も貰えるかと思っていた穂木が、下記の皆様のお陰で565本も戴けました。そして厄介な挿し木の作業も後記の方々のお力添えて、全部を挿すことが出来ました。馬鹿ばかしいとも取れる私のお願いを真剣に受け止め、このように沢山の皆様がご支援、ご協力を賜りましたことに対し、感激しますとともに心からお礼を申し上げます。

※挿し木用の穂木を提供して戴きました方々

長渡達夫様	199本	山崎浩様	47本	久保田正昭様	10本
馬場一吉様	172本	菊地清子様	6本	室屋瀧雄様	15本
鶴戸神宮様	33本	いるか岬様	30本	中尾景吉様	48本
島田清巳様	5本				

※挿し木をして下さった方々

井崎和幸様	73本	上妻隆康様	63本	和田孝光様	60本
中村政義様	105本	荒木久治様	10本	海老原秀夫	254本

◎ 南郷町大島の「植栽ボランティア」に参加しました。

4月29日に行われた「大島歩こう会植栽ボランティア」に行ってきた。

大島は始めてでしたがとても素晴らしいところで、参加者も南郷町の町民だけでなく、遠くは西都市や宮崎市などからも見えていて総勢100人以上だったと思います。

降ったり止んだりの生憎の天気で、期待したツマベニチョウにはお目にかかれませんが、中央のアドベンチャー・キャビンの裏手に6本のギョボクが植わっているのを見たり、管理人の島田清巳様よりツマベニチョウについての情報をいろいろ聞くことが出来て幸いでした。

お話によりますとツマベニチョウはよく見かけられるそうで、特に天空からサーツと降りてくる姿は蝶とは思えない程だとのこと。しかしそれが災いしてかコガネグモの巣にかかり、その餌食になっているそうで、クモを見ると殺すのだと言っておられました。

島のあちこちにハイビスカスが沢山植えてあり、アザミなどの野草もいっぱい咲いていて、ツマベニチョウにとって望ましい状況を嬉しく思いました。ただ廉価で繁茂しやすいランタナが無かったようですので、これから植えて下さいと町の観光協会の事務局長様をお願いしておきました。

南郷町長の崎村利正様も私のお願いをお聞き下さいましてまことに有り難うございました。

今回はこれで失礼いたします。

平成10年5月6日

海老原秀夫